

静内研究牧場で放牧中の
日本短角種



KIBO NO NIJI きぼうの虹

発行所
北海道大学生活協同組合
札幌市北区北8条西7丁目
教職員委員会編集
電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 三画 巨大地震とその津波に備える
- 四画 「総代選挙」が始まります！
- 七画 大学文書館へ行く 第8回

日高山脈の麓にある静内研究牧場は敷地面積470ha、東京ドーム100個分という広大な広さで馬100頭と牛150頭を飼養し、持続可能な土地利用型の家畜生産に関する教育・研究を行なっています。馬は日本在来馬のひとつ「とさん」の愛称で呼ばれる北海道和種、牛は和牛のひとつ日本短角種で、どちらも粗飼料(草)の利用性が高い特徴を持つ「草で家畜を飼う」という当牧場発足当時から理念にぴったりの品種です。

馬も牛も草食動物だということ、多くの皆さんがご存じだと思います。文字通り、草を食べる動物です。草を食べる馬や牛を草で飼う、当たり前のことに聞こえますが、実は今の日本では当たり前ではないのです。

たとえば高級霜降り牛肉として有名な黒毛和種、一般に生後28カ月で体重700kgまで育てるのに濃厚飼料(穀物)を4~6t与えます。乳用種であるホルスタイン種の雄は当然牛乳を出さないで(去勢して)お肉にしますが、21カ月齢で750kgを目標に肥育し、この間5~6tの濃厚飼料を与えます。体重750kgの牛からとれる精肉の量は200~250kg、つまり250kgの牛肉生産にその20倍、5tもの濃厚飼料を与えます。しかもこの濃厚

飼料はほとんどが海外からの輸入、日本の食料自給率が低い原因として輸入穀物に頼る畜産業が悪者扱いされるのは当然かもしれません。

静内研究牧場では、春から秋までは放牧のみ、放牧に出せない

持続可能な土地利用型家畜生産 ~草で育てた北大短角牛~

北方生物圏フィールド
科学センター
静内研究牧場
河合 正人



Opinion!

い冬の間は場内で収穫した牧草と飼料用トウモロコシサイレージ(発酵飼料)を与え、冬季と肥育時に給与する濃厚飼料は我が国での一般量の1/4程度に減らして利用する。しかも、濃厚飼料として利用するのは人が食用として規格外小麦、さらにはどちらも道内産にこだわりました。

黒毛和種への濃厚飼料多給方

式を、まったく否定するわけではありません。穀物を多く与える肥育方法は日本人が編み出した、日本人の嗜好によく合う牛肉生産のためのすばらしい飼養技術です。一方で穀物を極力与えず、牛が利用できる草主体で生産した牛肉があってもいいのでは、という提示です。草で飼えば、穀物で飼うより成長に時間がかかります。生の牧草を食べると脂肪が黄色くなり、日本の規格では格付けが下がります。放牧地で運動すると肉は硬くなり、こうした飼い方ではもちろん霜降りにはなりません。しかし、高級霜降り和牛とは対極にある牛肉として、草で飼える牛を草で飼う、という牛を家畜として飼う最大のメリットについて皆さんに考えていただきたい、また日頃食卓に並ぶ畜産食品に目を向け少しでも食について考えるきっかけとなってくれば、と新たな北大ブランドとして「北大短角牛」の一般販売を始めました。

人が利用できる草を人が利用できる肉や乳に変えてくれる、牛が持つこのすばらしい能力を最大限に発揮させること、静内研究牧場、そして札幌キャンパス内の生物生産研究農場も同じく、我々が行なっている教育・研究の原点はここにあります。

北海道大学大学院理学研究院
地震火山研究観測センター教授 谷岡 勇市郎
北海道大学 井上 高聡

生活困窮の 学生・大学院生・留学生に対する 食料配付支援のご報告

～『ほっかいどう若者応援プロジェクト』と北海道大学の取り組み～



コロナ禍が続く中、アルバイト収入や保護者からの仕送りが減ることで修学継続に困窮する学生が増えています。大学内外から多くの寄付や賛同が寄せられ、学生支援につながっています。

コロナ禍においても修学が継続できるように文科省や学生支援機構、地方自治体、北海道大学フロンティア基金や同窓会などが様々な形で支援を行っています。ここでは『ほっかいどう若者応援プロジェクト』の取り組みと北海道大学が行った2回の食料・生活用品の配付に協力させて頂いた報告を致します。

『ほっかいどう若者応援プロジェクト』は

令和3年1月に、連合北海道・北海道労働者福祉協議会・北海道生活協同組合連合会・大学生協事業連合北海道地区を構成団体として発足しました。北海道で学び暮らす学生を支援し、若者の地元定着や道内企業の人材確保等の課題解決、更には地域の活性化を掲げ、多くの企業・団体・個人の皆さんの賛同と協力で運営がされました。



具体的な支援活動は3期に分けて行われ、第1期では令和3年2月9～10日に北大北部厚生施設にて1000名を対象に食料配付を実施しました。事前の宣伝も十分ではありませんでしたが、WEB受付開始から約9時間で定員に達するなど、学生の困窮な状況に驚かされました。アンケートからもバイト収入の激減や孤立感などメンタルヘルスへの支援の声も多く寄せられました。その後、6月に函館キャンパスで食料配付を行いました。7月までに道内19大学24キャンパス、約8300名へ支援を行うことができました。

10月からの第3期では、道内17大学21キャンパス、約5900名への支援が行われ、北大生協でも12月に札幌・函館両キャンパスで2回目の支援活動を行いました。



北海道大学は、6月と11月に「北大フロンティア基金」を活用して札幌・函館両キャンパスで食料・生活用品支援企画が実施されました。北大生協は、入札で受付・配付・商品調達の業務を受託しました。

コロナ禍で「暮らし」「学び」「コミュニティ」の3つの危機に直面する学生に対し、わずかでも「食の支援」を通じて生活を支えることは、学びを支え、心を支えることであること。支援の規模としては限定的であったとしても、一定の目的と役割を果たせた活動だったと改めて実感することができました。

『ほっかいどう若者応援プロジェクト』の専用ホームページがありますので、詳細はご覧ください。

<https://www.wakamono-ouen.com/>

いじわるじいさん

2021年、我が菜園は受難の年だった。雨不足でインゲンは無成長のまま黄色く枯れ、収穫のまじらされた。足跡と糞が残っていた▼シカの姿は見えていないが、畑への道で、車にひかれたキツネを何度か見ている。自宅近くで、

に追われて逃げまどう場に行き合わせたこともある。アーバンフォックスとの出会いだった▼シカやキツネならまだしも、ヒグマの市中出没のニュースは衝撃だった。散歩中の公園で、管理事務所の職員が追いかけて来て、注意してくれたこともあった。6月には住宅地に現れ、通勤中の人を襲い大怪我を負わせた▼菜園は郊外にあり、傍に小川がある。ラジオを鳴らしながら一日に何往復もして、細々と流れる水を汲み畑にまくのだが、川に下りるのが怖かった▼先のクマは駆除された。市中に出たきたことで殺されたのだ。放棄果樹や畑、ゴミ箱等がどんなに魅力でも、彼らは森から出てはならない。出させてもならない▼荒れた林や草むらの市民参加の草刈り事業が、出沒抑制に効果を上げていると聞く。菜園周りにも笹ヤブがある。春になったら、せめてあそこだけでも、と思う。草刈りだ。クマをアーバンベアにしないために。(今日子)

巨大地震とその津波に備える

北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター
教授 谷岡 勇市郎

北海道の太平洋沿岸では津波による堆積物の調査により、歴史史料に記録されている津波より大きな津波が過去に発生していたことが明らかになってきました。図1右にはその一例として十勝の沿岸（生花苗沼）で堆積物が発見された場所（黒丸）とそれらを説明するための津波浸水のモデルを示します。図1左はその津波を計算するための地震の断層を示しています。それらの成果を受けて、国（内閣府）は、津波による堆積物調査の成果を活用して、最大津波の想定を昨年4月に発表しました。また、北海道は国の想定を用いて北海道沿岸の各地域での詳細な津波浸水マップを改訂しました。北海道太平洋沿岸の各自治体ではその津波に備えた防災対応を検討している段階です。北大の研究成果が行政を通じて地域住民の津波災害の軽減への取り組みに着実に結びついています。

さらに国（文部科学省）はこのような津波の即時予測を精度良く実施するために図2左に示すような海底地震津波観測網（S-net）を設置しました（図2左、黒丸）。これは世界で日本だけの稠密な海底観測網です。150を超える観測点には地震計と津波計（圧力計）が備えられ、海底ケーブルで陸上施設につながっています。そこで観測された地震波形や圧力波形のデータはリアルタイムで防災科学技術研究所に送られ、津波即時予測に利用されています。北大ではそれらの観測データを利用し沿岸での津波の高さや浸水範囲を即時的に精度良く予測する手法の開発に取り組んでいます。現在、津波の予測は気象庁により実施されていますが、基本的には地震計で観測された地震波形を用いて地震の大きさや発生場所を決め、その情報を基に津波予報を実施しています。しかし、地震の情報から津波を予測する場合、地震の大きさの決定精度が悪いと津波予測の精度が悪くなってしまいます。大きな地震になればなるほど地震波形から決める大きさの精度が落ちるのが大きな欠点です。実際、2011年東北地方太平洋沖地震の際、地震の大きさの見積もりが過小評価だったため、津波の予測も過小評価になりました。そこで、北大では、地震の情報をもとに津波を予測することをせず、上記のS-netで観測された津波波形そのものを基に津波の計算を実施し、沿岸での津波を予測する手法を開発しました（図2右）。地震の大きさに関わらず、観測された津波を用いて予測するこの手法により、大きな津波の予測精度は格段に上がります。この手法はまだ実用化はされていませんが、この研究成果は、将来北海道太平洋の沖合で発生する巨大地震による大津波が引き起こす沿岸での災害を軽減することに役立つと期待しています。

最後に、上記のような津波が冬季に発生した場合、北海道では寒冷地特有の困難が伴います。まず、路面凍結や積雪のため、津波即時予測により精度良い情報が出された場合でも避難速度が遅くなり避難所までたどり着く時間的余裕が無くなります。そのため一時避難として吹きさらしの高台に避難することになる可能性もあります。津波からは逃げるのができたとしても冬季の高台では暖を取ることが出来ず零下の中で避難時間が長くなれば低体温症になるリスクが高くなります。北海道において巨大津波による災害を軽減するためには、住民ひとりひとりが意識して、それに備える準備を整えることが鍵になります。

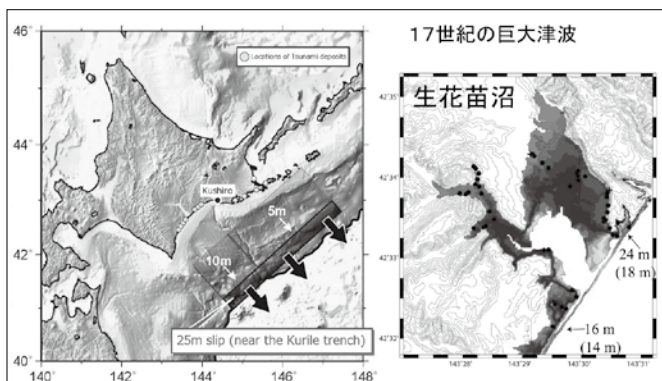


図1 津波堆積物調査より明らかになった17世紀の巨大地震 (Ioki and Tanioka, 2016)

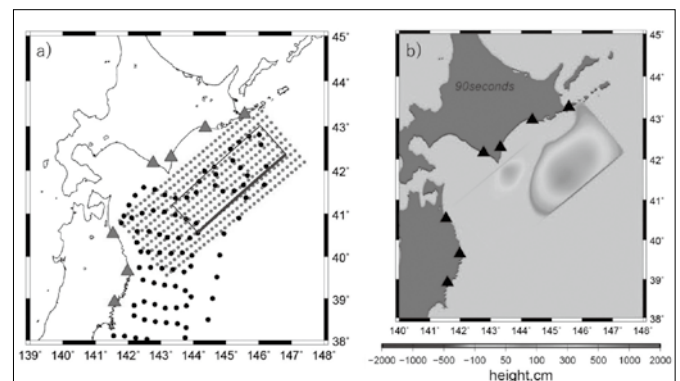
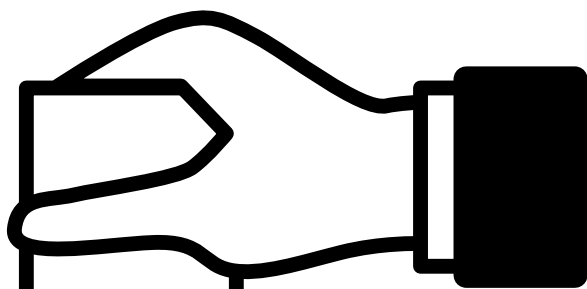


図2 津波即時予測手法の開発 (Tanioka, 2020)
左) 黒丸がS-netの観測点分布。右) 地震発生90秒後の津波予測



2022年度

『**総代選挙**』
始まります！

【総代】とは・・・

組合員の代表で、生協運営の最高議決機関である『総代会』（株主総会の協同組合版：5月開催）に出席し、1年間の総括と決算を承認したり、これからの運営方針と予算を決定する議決を行います。教職員はその後の状況確認や組合員からの意見・要望を政策に反映させるために年10回開催の『総代会議』に参加（主にZoom）し意見交換を行い、運営に参加しています。

2022年度の総代を決める時期となりました。

選挙区は右表の通り合計で260名（2021年度は172名）を目標に各選挙区ごとに選挙を行っていきます。

総代選挙区	定数
学部生	150
大学院生	40
教職員	60
生協職員、その他	10
合計	260

【教職員選挙区】

2月の総代会議で総代選挙を提起致します。本年度の総代の皆さんには継続をお願いしたいと思います。退職や異動で欠員が出る可能性があるブロックでは、後任総代の立候補・推薦などをお願いしていきます。

【学部生選挙区】 【大学院生選挙区】

2月下旬に本年度総代の皆様に『継続願いのメール』を発信します。また、学部新一年生については接点を設ける取組を行いながら52名の選出を予定しています。

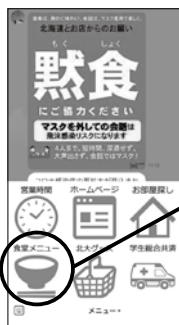
新大学院生についても歓迎企画等の接点づくりを行い不足のある学年については、立候補・推薦などをお願いしていきます。

2022年度の総代選挙は3月～4月末くらいまでに行っていきますので、組合員の皆様のご協力をお願い致します。



Zoomによる『教職員の総代会議』の様子

生協食堂のメニューが
「見える化」
しました！



公式LINEアカウント
QRコード

北大生協「公式LINEアカウント」にお友だち登録して頂くと、毎日の食堂メニューを店舗ごとに確認することができます。

公式LINEアカウントでは、営業時間も簡単にご確認いただけます。

また利用される食堂が固定している方は、専用URLをブックマークしていただくと便利です。

大学生協の電子書籍を買う方法

大学生協電子書籍専用サイト
VarsityWavee-books

詳しくはこちらをご覧ください



大学生協でも実は電子書籍取り扱ってるんです！
取扱点数は約6,000点（2021年12月現在）、
専門書を中心に様々な電子書籍を取り扱っています。



校費で決済の場合は店舗・事務局の決済内容確認と校費処理に3～4営業日のお時間をいただきます。
ご希望される方には即日発行のクーポンコードでの販売も行っております。
個人決済方法はWebmoneyのみとなります。
取扱い書籍など、詳細につきましては書籍部にお問い合わせください。

教職員委員会から退任のご挨拶

遺伝子病制御研究所 技術部嘱託職員
北大生協 教職員委員 山口 桂



些細ですが、組合員を続ける事なのかな？
怠惰な私と今日までお付き合い戴いた、
教職員委員会には唯々感謝です、ありがと
うございました。

教職員委員会事務局
北大生協理事会室 志々見 悦子

昭和53年8月に免疫科学研究所(遺伝子病制御研究所)の技術職員に採用され以来今日まで研究所にしがみ付いてきましたが、今年度末に嘱託職員の任期満了となり、4月からは毎日が休日となる予定です。

思い返せば初出勤日の昼食を医学部食堂で取った日から、私の北大生協との関わりが始まりました。当時は生協のレジの後ろに生協の役員・教職員総代名簿なる物が掲示されており、氏名と所属先が記載されていて、さぞかし偉い人達だと思っただけです、その二年後には総代を経て海外留学をする歯学部先生の代役で組織委員になっていました。

当時の組織委員会は大学院生と合同で月に二回定例で開催され、他に所属する委員会に依っては、週一で活動していました。が、生来の怠け者である私としては只管に己の存在が突出しないように腐心していました。

途中で12年間ほど冬眠させて頂きましたが、平成14年に請われて教職員委員会に復帰しました。その後院生委員会が独立し、教職員委員会を構成する人数が減り続け、現在は少数での活動に余儀なく縮小しています。このような中、二年前から世界中で猛威を振るうコロナウイルスの影響により、北大生協でも未曾有の経営危機に直面しており、生協存続の為に私が出る事は

9年4カ月「きぼうの虹」編集担当を務めさせていただきましたが、この年度迎えて、次の方へバトンをお渡しする事となりました。52年続いている冊子の担当という事で、プレッシャーもありましたが、多くの方のお力添えがあり、何とか途切れず繋ぐ事ができてホッとしてるところです。

バックナンバーを読み直してみたところ、この9年間で実に150名を超える方に執筆いただきました。大変な事もありましたが、届いた原稿を一番先に読めるのはとても楽しみでした。時には内容が心に沁みて、パソコンの前で一人感動していた事もありました。執筆者の皆様にはいろいろと無理な事もお願いましたが、快く受け止めていただき、本当に感謝しております。

また学内外で、この一見地味な冊子を手にとって読んでいただいていた読者の皆様、様々な協力をいただいた教職員総代の皆様、そして一緒に苦楽を共にした教職員委員会の皆様、お一人お一人に直接お礼をお伝えしたいのですが、代わりにこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



外国語を学ぶことが、どうもここらの健康にいいフシがある、と言うと、驚かれる方が多いでしょうか。実際、まわりの若い学生さんたちに英語について聞いてみると、みんな一様に、とんでもないっ！という反応です。みんな？みんな、そんなにエーゴきらいか？私自身が何とか理解できる外国語ということもありまして、ここでは英語を中心に考えてみましょう。

北大生だった頃、気分が落ち込み気味のときに英語の勉強すると、なんとなく調子が良くなるということに気づいていました。一人の友人に聞いてみると、スランプの時は語学の勉強が良い、とのこと。やっぱりそうか、と思いました。こう言うと、おまえはよほど英語ができるんだらうと思う人がいるかもしれないですが、とんでもありません。ここ一年程のんびりと読んでいる英語の本は、三百数十頁のある手記なので、調べた単語と翻訳ソフトで訳した文章の数は、四千に近いのです。しかも、同じ単語を五回も調べていたりして、中学生の娘にバカにされる始末です。英語が嫌いではありませんが、私の英語力はそんなものです。心理学領域の文献では、ここらの健康と外国語に関係のある記述を、一つだけ知っています。重篤な精神疾患を持つ人の積極的治療を行う際は、相互作用によりこちらにも精神病水準の現象が起り得る、という内容で、その中に、そういう時、もしなにか読んだり書いたりしたくなったら外国語の方が良い、専門文献じゃなくてもノン・フィクションが良い、と述べられているのです。理由は、外国語で読むと情緒的な揺さぶりが少ないからだろう、とあります。うーん、私は外国語による伝達では、単なる知識や情報とは異なる何か基本的な、もっと言えば根源的なものが伝わる感じがあるな、と以前からなんとなく感じていたのですが、それが人を支えるのではないかと。学生時

ここらの健康を考える ⑦③

語学はここらの健康にいい...うそ!?

代のゼミの先生は、外国語で読むと理解のホリゾンタルが違う、と言っておられました。仕事の量がどんどん増えてきて、仕事の効率を上げて何とか対処しようとする、今度は疲れ方がひどくなるような気がします。そうなる夜には酒を飲んでリラックスというのも、かえって体力を使ってしまうような。そういふ時、英語を読むというのは、意外や意外、わりと良いようなのです。振り返ってみれば私の場合、多忙さがどんどん高じてきた時期に、アルコールが英語に代わっていったような気がするのです。

英語を読む場合以前と違うのは、インターネットです。調べれば、口語表現、俗語表現も大体わかりますし、会話をもとにした構文の分かりづらい文章も、無料で使える翻訳ソフトで、ほとんど理解できてしまうことです。これは本当にありがたいことで、これが無ければ、語学はここらの健康にいいなんて言ってもらえるかどうか。

件はゼミの先生のある日の講義で話です。先生はいつものように目を閉じて、淡々と語っておられます。私が諸君と同じ年齢の頃、ある時にもする気が起きなくなつて、部屋にこもつて一冊の本に読みふけたことがありました。(ふんふん、せんせいでもそんなことがあったんだな...) その本はラテン語で書かれており...(へ? ラテン語?)...教室を見回すと、あちこちで学生がのけぞったり、脱力して机に突っ伏したりしているのが見えるのでした。ああ、なんとも高尚な話だと感じたことでしたが、今から思えば先生も、つらい気持ちを外国語で癒しておられたのかもしれない。

ほけんのお話

今回は、地震被災後の生活再建対策である地震保険のおよその成り立ちについてです。

地震保険は明治の時代から幾度となく検討されてきましたが、他の災害と比べて発生頻度がかなり低いこと、災害規模の予想が難しいことから、保険制度として成立させるしくみと資金面でなかなか解決できず、実現できませんでした。

1964年6月の新潟地震(M7.5)を契機に、当時の蔵相田中角栄が「地震保険は必要だ」として、1966年の国会において『地震保険に関する法律(地震保険法)』を制定し、①目的を地震等による被災者の生活の安定に寄与すること、②対象を居住用の建物と家財に限定、③民間保険会社と政府が保険料を責任準備金として積み立てるという枠組みで地震保険が創設されました。地震や津波による被災後の生活を少しでも取り戻すための保険として大きな一歩でした。その後、度重なる改定を経て現在に至っています。

現在の地震保険と比較すると、以下のとおり充実してきましたことがわかります。

- ・ 火災保険の保険金額に対する地震保険の保険金額の割合: 30% ↓ 30% ↓ 50%、
- ・ 保険金額の限度額: 建物90万円・家財60万円 ↓ 建物5,000万円・家財1,000万円、
- ・ 補償: 全損のみ ↓ 全損・大半損・小半損・一部損、
- ・ 支払限度額: 3,000億円(政府2,700億円・保険会社300億円) ↓ 12兆円(11兆7,751億円・保険会社2,249億円)

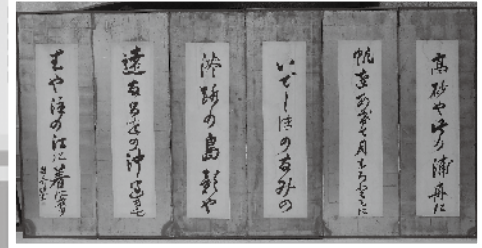
東日本大震災の場合、全壊住宅の新築費用は平均約2,500万円、それに対して公的支援は、善意による義援金をあわせても約400万円にとどまりました。地震保険なしでは被災後の生活再建を見通せないことは明らかです。地震保険に加入しているか確認してみよう。加入していないときは損害保険代理店に相談してみよう。



大学文書館へ 行こう

第8回 「佐藤昌介の書の変わり種」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



「高砂」の屏風（佐藤一男氏寄贈、大学文書館蔵）

定番ウエディングソング

今どきの定番ウエディングソングにはどんな曲があるのでしょうか。私が思い浮かべるのは、「てんとつ虫のサンバ」であったり「乾杯」であったりしますが、随分と古い感覚なのではないでしょうか。さてまた、私よりもずっと上の世代には、ウエディング（婚礼）と言えばもうこれ以外にはないというお約束の曲があります。「高砂」です。

「高砂」は、一四世紀に世阿弥が作り上げた能の演目です。旅をする神主の一行が播磨国の高砂の浦に着くと、老夫婦が現われます。高砂の松と、対岸の

撰津国の住吉の松が「相生の松」であり、自分たちはその化身であると告げます。一行が舟で住吉に着くと、住吉明神が現われ、世の平安を言祝ぐ舞いを披露するという、おめでたい筋立てです。

常緑の松は長寿を象徴し、「相生」（共に生きる）は「相老」（共に老いる）にも通じ、夫婦の睦まじさや長寿のめでたさを表現しています。そのため、「高砂」の謡いの一節が、婚礼の席の余興などで披露されてきました。特に「高砂や／この浦舟に帆をあげて」に始まる一節は、婚礼を象徴する、知らない者のいないほど有名な曲で

した。さすがに結婚式の形態が大きく変わった昨今は、あまり披露される機会はなくなりまして、時代劇の婚礼の場面などで見掛けることがあります。また、落語「高砂や」の題材にもなっています。

お堅い佐藤昌介

先日、佐藤昌介の書の寄贈を受けました。六扇一双（六枚一組）の屏風が三点、扁額が二点です。屏風は、「高砂」の謡いの内、「所は高砂の／尾上の松も年ふりて」に始まる、松の老木の長寿を言祝ぐくだりを書いたものが一点、先ほど触れた「高砂や／この浦舟に帆をあげて」に始まるものが一点、「君が代」を写したものが一点です。扁額は、一九三八年に書いた「克忠克孝」と、一九三一年に書いた「勤儉治産」です。

佐藤昌介は札幌農学校の第一期生です。卒業後は札幌農学校



珍しい笑顔の佐藤昌介（1930年代、大学文書館蔵）

教授・校長となり、大学昇格後には学長・総長を務めた人物です。盛岡藩士の家に生まれた佐藤は、藩校などで武士の由緒正しい教育を受けました。教養として漢文を解し、漢詩を作り、書を嗜む。佐藤は当時の典型的な知識人であったと言えます。

佐藤は知人に頼まれて書を書いて進呈することが多く、大学文書館もそうした佐藤の書作品を掛け軸や扁額に仕立てたものを多く所蔵しています。書いている内容は、中国の古典の一節や自作の漢詩などが多く、当然、すべて漢字です。先にあげた寄贈資料で言えば、「勤儉治産」、「克忠克孝」のような具合です。

柔和な表情

ところが、「高砂」や「君が代」の屏風はひらがなを交えた書です。一方、漢字だけで書いた「克忠克孝」は「克く忠に克く孝に」、「勤儉治産」は「勤儉産を治め」と読み下すことができ、それぞれ、戦前に天皇が道徳を解いた「教育勅語」、「戊申詔書」の一節を漢文訳したものと考えられます。佐藤の書作品としては、ひらがな混じりは異

例であり、「高砂」、「君が代」、「教育勅語」、「戊申詔書」といった題材も珍しいものです。

これらの書は佐藤昌介が夕張郡角田村（現在の栗山町）で農業を営む赤澤熊太郎に進呈したものです。教え子などに進呈した厳しい漢字羅列の書より、誰にでも読めるひらがなを交えたものの方がふさわしいと考えたのかも知れません。題材とした「高砂」は、前述のように当時の定番ウエディングソングです。「君が代」、「教育勅語」、「戊申詔書」は小学校で必ず習います。いずれも誰もが知っている章句です。お高くとまった漢文・漢詩などより、遙かに身近で親しみのあるものでした。

今回紹介した寄贈資料は、佐藤昌介の柔和な表情を感じさせる変わり種と言えます。



「克忠克孝」の扁額（佐藤一男氏寄贈、大学文書館蔵）

クラーク 書籍便り Vol.07

12月は年末謝恩セールがありました。ここ数カ月は新書の良書が目立ちましたが、今回は文庫もたくさんランクインしました。3位にランクインしたブレイディみかこさんは今後大注目です。

クラーク12月一般書ランキング

	書名	著者名	出版社		書名	著者名	出版社
1	#教師のバトンとはなんだったのか	内田良	岩波書店	6	ノースライト	横山秀夫	新潮文庫
2	ヨーロッパ史入門	池上俊一	岩波ジュニア新書	7	歴史修正主義	武井彩佳	中公新書
3	ヨーロッパ・コーリング・リターンズ	ブレイディみかこ	岩波現代文庫	8	ジョン・ロールズ	齋藤純一	中公新書
4	大学4年間の金融学が10時間でざっと学べる	植田和男	角川文庫	9	護られなかった者たちへ	中山七里	宝島社文庫
5	噛みあわない会話と、ある過去について	辻村深月	講談社文庫	10	常設展示室	原田マハ	新潮文庫

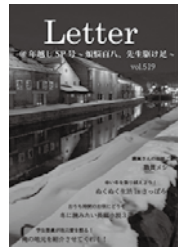
北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■機関誌「Letter」『年越しSPD号』を配架しました。

学生委員会の機関誌「Letter」の最新号、『年越しSPD号』を各生協購買及び食堂に配架しました。スキー場の紹介やコンビニおでんの食べ比べなど、冬ならではの内容となっています。ぜひ読んでみてください！



▲Letter表紙

■「タヌローのつぶやき」が始まりました。

共済活動の一環として「タヌローのつぶやき」が始まりました。共済関連のトピックを1枚のポストカードにして、Twitterに投稿しています。また、中央食堂にも貼り出しています。



▲タヌローのつぶやき 第1回

■学生委員会公式HP、Twitter
https://hokudai-coop.gi.com/
@HU_COOP_GL_CS

学生委員会の活動や学生委員の日の様子など、学生委員会のことについて詳しく知りたい方は、公式HP、Twitterをどうぞご覧ください。

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

学生委員会に意見・質問のある方は、こちらのメールアドレスにご連絡ください。

これからも学生委員会をよろしくお願ひします！！

院生委員会

■書評誌「ほんでないかい2021」配布中！

北大の院生や学生から募集した書評を集めた書評誌「ほんでないかい2021」を今年も作成しました。生協店舗、一部の学部で配布です！ぜひお手に取ってご覧ください！

■院生委員会公式Twitter

@Hokudainsei_coo

北大大学院生に向けて情報を発信するために、昨年度4月より再稼働しました。世の中のたくさんの方の情報のなかから北大の大学院生にかかわる情報を発信しています。私たちが企画した大学院生向けのイベント情報なども発信していく予定です。大学院生や大学院進学予定の学部生のみなさんはぜひご覧ください。

■院生委員会連絡先

hokudai_insei@coop.hokudai.ac.jp

現在、院生委員会では大学院生や大学院受験を控えた学部4年生のみなさんにどのような活動・サポートができるか検討しています。困っていることや要望があればぜひご連絡ください。

教職員委員会

■教職員総代会議…12月14・15日のお昼休みを利用して、WEB会議により開催しました。学内7エリアの総代の皆さんに、2日に分かれて参加していただきました。11月の総代会議から引き続き、12月も食堂のメニューをテーマにして食堂マネージャーも参加して意見交流を行いました。

■教職員委員会…毎月1回、総代会議であがった組合員の声や、企画物の立案、「きぼうの虹」に掲載する記事内容について討議しています。12月16日にWEB会議と対面会議併用で開催しました。

■「きぼうの虹」…この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。

【編集後記】

コロナ感染者が日々減少し、まもなく収束するのではと期待したのも束の間、年明けからオミクロン株が急増し再び行動が抑制される日々となってしまいました。これから受験・卒業・入学・就職等々と人生の節目となるこの時期に、思わずため息が出てしまいませんか。ただ、このような日々も、そのうち歴史の出来事として年表に刻まれるでしょう。渦中に見える一瞬の事。コロナ後に向けての準備期間と捉えて、今できる事を探して気持ち前向きに生活していければ良いですね。